

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年6月21日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

「医療介護大改悪法案の強行採決」に抗議します

改悪の被害を防ぐ取り組みとさらなる改悪は許さず拡充させる取り組みを



安倍自民公明政権は、6月18日、多くの国民や自治体、団体の反対世論に反して、医療介護を大改悪する「総合推進法案」を参議院本会議で強行採決、成立させました。断じて許されません。道内でも抗議の宣伝も行われています。

今後は、国や自治体に働きかけ、改悪の被害を防ぐ取り組みとともに、国保の都道府県化や入院給食費の自己負担増など安倍政権のさらなる社会保障

改悪をやめさせ、充実させる取り組みも大切です。

6月20日（金）に抗議の宣伝 昼は札幌中心街・夕方は白石区

札幌市では、毎週金曜日、「介護に笑顔を！道連絡会」などが札幌中心街で署名・宣伝行動を行っていましたが、法案が強行採決後の6月20日も抗議の宣伝行動を16名の参加で行いました（上の写真）。また、夕方には、白石区の地下鉄南郷7丁目駅前で抗議の宣伝行動を行い10人が参加しました。

今の国保や介護制度の下でも 深刻な相談あいつぐ 改悪は絶対許されない！

北見・国保110番、札幌社保協110番、札幌市北区などで相談会

道内各地で相談会が行われています。6月16日、北見市の国保をよくする会が「国保110番無料相談会」、6月17日、札幌市東区で国保・介護などの「110番」、6月20日、札幌市北区で「SOSなんでも相談会」などが行われました。特徴的な事例を紹介します。



「年金引き下げ、保険料値上げで生活できない」

本人（80代女性・一人暮らし）は年金生活者で、年金引き下げや後期高齢者医療保険のアップなどにより、今回届いた年金支給通知書の金額は月約6万円（生活保護水準以下）。そこから、さらに年4万円の介護保険料の納税用紙が届き、「生活ができない」との相談でした。

市に介護保険料の減免申請を行い、生活保護の利用についても話をしています。

「介護保険料が高すぎる、安くならないか」

本人（80代男性）は年金月1万円、「介護保険料が年額5万円（第4段階 基準額）と高いため、安くならないか」との相談でした。70代の妻と40代の娘と3人暮らし。妻の年金は月6万円、娘さんの月11万円程度のパート収入（課税）で何とか生活しているそうです。そのため娘さんは結婚もできないようです。家賃は月55000円。

介護保険料の減免申請後、生活保護利用も相談中

【 今後の110番・相談会 】

札幌社保協：6月26日を中心に「国保・介護・後期高齢者医療110番」

26日は、白石区（9:30～）・北区（9:30～）・西区（10:00～）・清田区（10:00～）

札幌西区SOS相談会 6月26日（木）14:00～19:00 西区民センター

札幌豊平SOS相談会 6月29日（日）10:00～14:30 勤医協月寒ファミリークリニック